

1月25日(月)

出迎える家

聖書朗読 ルカ 15:11~20

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。

黙示 3:20

長いこと教会を離れていた方がおりましたが、その方は最後にはかつての自分を取り戻し、信仰をおろそかしてきたことを悔い、再びイエス様に従う者として自分の人生を捧げる決意をしました。そして教会の活動にも積極的に関わるようになったのです。

その方と同じように、教会を離れてしまったけれども再び主に立ち返りたいという方々にお会いする機会がありますが、彼らは、教会にもう受け入れてもらえないのではないだろうか、あるいは、喜んで迎えてもらえないのではないかという不安があるようです。

そうした方々の存在を覚えて、私たちには自ら問うべきことがあると思います。自分たちの教会は暖かく迎える教会となっているでしょうか。心から喜んで迎える家族となっているでしょうか。

失われた羊が戻ってくることを祈りましょう。彼らが戻ってくることを期待しましょう。そして彼らが戻ってきたら、喜びをもって、赦しの心で迎えましょう。

悪意的な感情を持たないこと。彼らのこれまでの生き方に憤慨しないこと。またその事について噂にしないこと。

イエス様は今もなお、イエス様に一度背を向けてしまった人々の心の扉を叩いておられ、彼らが再びイエス様を心にお迎えすることを願っておられ、彼らがそうしたいなら、再び食事を共にすると約束しておられます。

私たちの側でなすべきことをし、彼らをいつでも喜んで迎え入れられる姿勢でいましょう。

讃美歌 240

祈り 親愛なる神様。あなた様は、背を向けてしまった人々が再び戻ることを願っておられます。どうか、私たちを、彼らが戻りたいと思える場とし、彼らが再び神の家族となることを喜んで迎えることの出来る存在としてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

スティーブ・リゲル
テキサス州 アビリン

今日の力

2016年 1月25日~1月31日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月26日(火)

何 の た め ？

聖書朗読 ルカ 18：1～8

目を覚まして、感謝をもって、たゆみなく祈りなさい。

コロサイ 4：2

皆さんもこのような経験はありませんか。祈っても祈っても、自分の望む答えが与えられない。そのうちに誘惑がやってきて、こう囁きます。「祈りなんて無駄なこと。神は祈りなど聞いていない。気にかけてなどくれない。神は何も変えることなど出来ず、変えようともしていない。忠実な存在などではない。心配などしてはくれない」。あるいは、あなたを責めて「祈りが足りず、熱心でなかったんじゃないか」と囁くのです。

けれども真実は決してそうではありません。神様は聞いておられ、あなたの祈りは、喜ばしく芳しい香りとなっているはずです。聖書には、神様がどれほど私たちが思い、愛しておられるかということが記されています。神様は一人ひとりに、私たちの国、それぞれの国ごとにご計画を持っておられます。私たちのなすべき事は、ただ神様に信頼し、義と聖さと公平と慈愛を、主の名によって求め続けることなのです。神様が私たちに支配しておられること、神様のご性質に感謝しましょう。

物事がうまく行かず落胆するような時には、神様の御顔を見上げ続けましょう。決して諦めてはいけません。神様とその道を求め続けましょう。主の名によって、聖なる神に執り成していただきましょう。神様とその約束を信頼し続けましょう。神様はご自身の定められた時に物事を成して下さいます。最後には、神様は勝利して下さり、私たちが決して落胆することはないのです。

讃美歌 241

祈り 聖なる父よ。私たちには見えないところであなた様が働かれ、あなた様の御名があがめられている事を覚えます。あなた様の恵みにより、あなた様が最後には必ず勝利して下さるということを信頼し続けることができるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビルジー・A・ニーマン

コロラド州 ニューキャッスル

1月27日(水)

再 起 動

聖書朗読 ヨハネ 3：1～8

・・・と言われたのを、あなたがたは聞いています。しかし、わたしはあなたがたに言います。 マタイ 5：21

ニコデモは大変多くのことを成し遂げた人であり、パリサイ派の最高権威の立場にある人でしたが、イエス様に大変困惑しました。ニコデモは、イエス様のなされた御業から、イエス様が神様から来られたことを認めていました。イエス様はニコデモが質問する前に、彼が何を尋ねるかを知っておられ、こうおっしゃいます。「ニコデモよ。私のいのちを見出すために、再びやり直さなければならない。再び産まれなければならない」。ニコデモにとって、自分の信ずるべきものはただ宗教的な成果、つまり、肉的な事柄でした。天の御国のいのちは、神から与えられるものであり、水と聖霊によって新しく生まれ変わるといことです。今日の言葉で言えば、イエス様はニコデモに、人生を再起動しなさいとおっしゃっています。プライドに満ち様々な偉業を成し遂げるのではなく、聖霊に導かれた生き方をしなさいと。

イエス様の教えには、自分には極めて難しいと思われることが多くありませんか。ニコデモと同じように私たちも、イエス様のおっしゃることに困惑することがあるでしょう。敵を愛しなさい。自分を最も小さい者とし他者に仕えなさい。誰に対しても悪意を抱かないこと。自己を否定しすべての人を赦しなさいといったことです。こうした教えに従った生き方をしているでしょうか。もしそのような生き方をしていないのであれば、私たちが人生を再起動し、新しくスタートする必要があります。

神の国における大いなる喜びはいくつもありますが、そのうちの一つは、ただ決心することで新しいスタートが出来るということです。この世のプライドを捨て聖霊で満たしていただき、神の国における新たな命を持たせていただきましょう。

讃美歌 195

祈り 親愛なる神様。私たちが、実際の知恵以上に自分には知恵があると奢るときどうかお赦しください。日々のあらゆる瞬間に、イエス様の教えを学び、信じ、その教えに生きることが出来るようお導きください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

イーブル・ラヴェンダー

テネシー州 ブレントウッド

1月28日(木)

神とともに生きる

聖書朗読 ヨハネ 3:16~21

すべてのものはこの方によって造られた。

ヨハネ 1:3

ヨハネ3章16節は、新約聖書の中でも最もよく知られた箇所ではないでしょうか。スポーツのイベントに行くと、至るところでこの箇所を記した看板を目にします。この短い一節に、神の救いの御業が凝縮されていると言われていますが、それはどういう意味なのでしょう。

ギリシャ語には、life という語を表すのにいくつもの語があります。bios は生物学的あるいは肉体的な life を、psyche は心理面あるいは人の内なる働き、人の心や魂、精神という意味での life を表します。誰もがこのような様々な life を持っています。

ヨハネは福音書1章で、life を zoe という語で表現していますが、この zoe は、アダムとエバが初めの罪を犯す前、神と共にあった時に持っていた life を意味します。ヨハネはこう続けます。イエスは zoe であり、信ずるすべての者にその zoe をお与えになると。またパウロはローマ書6章で、バプテスマにより、キリストとともに死に、葬られ、蘇るときに私たちが与えられる life に、同じ zoe を用いています。この二人の著者が私たちに伝えようとしたこと、それは、イエス様を通して私たちに、アダムとエバが墮落する前に持っていた life(zoe) が与えられるということです。皆さん、このことこそ、イエス様がこの世にもたらして下さった福音なのです。

讃美歌 第二編 21

祈り 親愛なる主よ。あなたと共にあるいのちをもたらしてくださったイエス様に感謝します。この福音が私たちから溢れ出て、この世に伝えられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

スタン・カニンガム
テネシー州 ナッシュビル

1月29日(金)

主こそまさに

聖書朗読 ヨハネ 6:9~15

イスラエルのすべての人々は、このことをはっきりと知らなければなりません。すなわち、神が、今や主とともにキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。使徒 2:36

ヨハネ6章でモーセの名は32節まで出てこないのですが、1節ですでにモーセについて書かれていることがほめかされています。過ぎ越しの祭りが間もなくやって来る頃、イエス様は山へ登られた後、荒野で人々にパンをお与えになりましたが、そこで人々はこう言います。『まことに、この方こそ、世に来られるはずの預言者だ。』(ヨハネ 6:14)。そこまでは良かったのですが、イエス様は、さらに彼らご自分を王とするために、無理矢理連れて行こうとしているのを知って、退かれました。

モーセのような預言者が現れると、人々は耳を傾け従おうとしますが、また、そのような人物を、自分たちの思い通りにしようとするのが人の性質ではないでしょうか。人々はこのように願いました。「イエス様、我々の敵を打ち破り、我々の教義を正当なものとし、我々の求める主となってください」。イエス様は、私たちが望む主となるためにこの世に来られたのではありません。ただ主とされるために来られたのです。神のご意志を成し遂げるために来られたのであって、気まぐれな群衆や教会のためにやって来られたのではありません。

私たちには自分の好きな教会へ行き、好きな説教者の説教を聞き、好きな讃美歌を歌いたいと願う傾向がありますが、それでは、イエス様は立ち去って行かれるかもしれません。もちろん、人を引きつけるような教会や魅力的な人々の存在も必要かもしれませんが、まず私たちが導くべき先は、真の主であるイエス様であるべきなのです。

讃美歌 第二編 161

祈り アバ父よ。私たちが必要とする救い主である主をお送りくださり感謝します。私たちが、自分たちの望む主に変えようとするのがないようになしてください。自分たちの望むものではなく、あなた様のご意志を求めよう、聖霊によって私たちを変えてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ティム・ケリー
コロラド州 リトルトン

1月30日(土)

私を誰と言うか

聖書朗読 ヨハネ 7:25~36

私は、あなたが世に来られる神の子キリストである、と信じております。

ヨハネ 11:27

私は子どものころ、よくパズルをしたものです。1000ピース以上であれば何でも良く、最も大きなものは10000ピースありました。形は、丸でも、四角でも、長方形でも何でもよく、一つだけ私たち家族だけの特別なルールがありました。それは、すべてのピースを箱からテーブルの上に出したら、箱とその完成した絵はしまってしまうのです。こっそり絵を見てしまったら、パズルをすることから外されるというものでした。

普通のやり方とは違い、私たちは一つ一つのピースを手掛かりに絵を完成させていくのです。

この方はいったい誰だろう。エルサレムの人々は様々な出来事を繋ぎ合せて、その人物像を探ろうとしていたことでしょうか。この方の言うことは全く不可解だ。こんなことをおっしゃる。私はその方から来てその方が私を遣わされた。私は私を遣わされた方の元へ戻る。そこには、あなた方は来ることが出来ない。

手掛かりをどう繋ぎ合わせたらよいだろう。指導者たちは、その方が救い主ではないかと密かに思っていたのではないのでしょうか。もし他に救い主が現れたなら、この方よりさらに多くの奇跡を行うだろうか。何故、この方と共に自分たちは行くことができないのか。

様々な断片をいかに繋ぎ合わせたらよいのか、私達も当惑しませんか。この方はどなたか。預言者かそれとも偽り者か。単なる人なのかそれとも神の子か。その方によっていかにして私たちの生き方が変えられるのか。

讃美歌 121

祈り 主よ。信ずることはたやすいことではありません。私たちもあなた様に似た者としていただけると信じさせてください。主を信じます。どうか疑いを私から遠ざけてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

グレン・ペンバートン
テキサス州 アビリン

1月31日(日)

あなたの父親は誰ですか

讃美歌 ヨハネ 8:42~47

彼が偽りを言うときは、自分にふさわしい話し方をしているのです。なぜなら彼は偽り者であり、また偽りの父であるからです。 ヨハネ 8:44

私は子どものころ、一度だけ、母にひどく叱られた事を覚えています。友人の誕生会でのこと。私は誰も見ていないところでプレゼントを開けて中を見て、こっそりそのまま隠しておきました。その後母にプレゼントを開けていないかと聞かれ、私は開けていないと嘘をついたのです。けれどもその嘘が明らかになったとき、母にひどく叱られたのです。そのことは今でも昨日のこのように覚えています。

真実は大切なこと、誠実であることも大切です。イエス様がサタンを偽りの父と呼んでいます、実にその通りだと思います。私たちは自分の軽率な言動を否定し、真実を隠そうとする誘惑にかられますが、真実はヨハネの福音書の中でも最も強調されている言葉のひとつです。ヨハネの福音書8章の初めの箇所でも、イエス様は、真理は私達を自由にするとおっしゃっています。

私はこの嘘をついたとき、もう二度と嘘はつかないと言えたらよかったのですが、それがまた嘘となっていたことでしょうか。けれども、私たちの父は偽りの父ではなく、真理の父であり、その方は私が物事の結果には向き合うようにされますが、私の向く方向を変え、そして、いかに愛しておられるかを示して下さいのお方なのです。あなたの父はどなたでしょうか。

讃美歌 24

祈り 父よ。完全な者を目指して歩む私たちの歩みを助けてください。私たちの歩みがあなた様の真理を映し出すものとなるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジェス・ピーターソン
テキサス州 ラボック